

全日本18マラナ・タに関する

Q & A

教会で検討するとき参考にし、それぞれの教会で準備を進めていきましょう。

Q どうして、「全日本18マラナ・タ」をするのですか？

家族や友人、近隣の方々など、周りの人たちとの関係を深め、イエス様の再臨を、大勢の人と喜んで迎えるためです。

Q 具体的には、どのような計画のですか？

2018年5月に、日本全国100か所以上で、同時に10日間の収穫のための講演会を開こうという計画です。

Q 世界総会総理のテッド・ウィルソン先生が講師になって行く講演会ではないのですか？

ネット98の時のように、スクリーンを見ながら参加するのですか？
テッド・ウィルソン総理は東京の1つの教会で講演を行う予定です。それ以外の場所では、それぞれに別の講師が10日間の講演を行うこととなります。

Q もしかして、100か所それぞれ別々の講師が、10日間の講演を行うのですか？

その通りです。最低でも100人の講師が必要になります。

Q 講師はもちろん牧師の先生がやってくださるのですか？

よね？

全国の牧師の先生方には、講師になっていただくかと考えています。

Q 100人も牧師はいないですよね？ 1人の牧師が兼牧している教会などは、どうすればいいのですか？

1人の牧師が複数の教会を兼牧している場合、その牧師は1か所の講演に集中していただきたいので、その中の1つの教会で講師となります。それ以外の教会では、まず、その教会の信徒で講師になれる方を検討していただけると幸いです。

Q 10日間の講演など、したことがありません。講演の原稿やスライドは自分で作るのですか？

教団で10日間の講演原稿やスライドは準備します。それを使っていただくことができます。

Q 複数の信徒で、交代に講演をしてもかまわないでしょうか？

できることならば、1人の人が講師を務めるのがいいと言われています。複数の人が講師を務めると、講師によって善し悪しが比較

されたり、講演の内容以外のことに注意がされてしまう危険性があるからです。でも、複数の人が交代で講師を務めるならばできるということであれば、まったくやらないよりも、それの方がいいと思います。

Q 準備される原稿は、勝手に文章を変えてはいけませんか？

自分でその原稿を一部変更して自分流にアレンジしてもかまいません。

Q 自分で10日間の原稿を作ってもいいですか？

全10日間の講演原稿を自分で作ってもかまいません。ただし、収穫の講演会ですので、講演会に出席される方が、その10日間でバプテスマの決心をするように導くような内容が期待されます。

Q 自分の教会で、講師になれる信徒が見つからない場合は、どうすればいいですか？

ゲストを講師として呼ぶことができます。

Q どのような人をゲストとして呼ぶことができますか？ この講演会のために訓練を受け

た青年や、元PMとして日本で働いておられた先生方、海外の牧師、また引退牧師の先生方にも、講師をお願いできるかもしれません。牧師を通して、教区・教団に希望を出してください。

Q 海外の牧師を講師に呼ぶ場合、通訳者は教団で探してもらえるのでしょうか？

申し訳ありませんが、通訳者はそれぞれの場所を探していただくことになると思います。

Q 自分の教会の外から講師を招く場合、かかる費用は自前になりますか？

教団も、できる限りの支援をすることを考えています。

Q 100か所以上で行うということですが、どのような100か所を考えているのですか？

教会堂のある教会や集会所では、ぜひ「全日本18マラナ・タ」に参加していただきたいと考えています。

Q 教会堂のない集会所や聖書研究会は、参加しなくてもいいのですか？

できるだけ多くの集会所や聖書

研究会も、この10日間の講演会を開いてほしいと考えています。できれば、全国のすべての教会、集会所、聖書研究会が同時に講演会を開くことが理想です。

Q 教会は自宅から遠いので、近所の人を誘って10日間通うのが大変です。自宅や近くのコミュニティセンターの部屋を借りて行ってもかまいませんか？

もちろんかまいません。自宅で行う場合は、連続公開聖書講座という名目で行うのもいいかもしれません。

Q そうなると1つの教会が2か所で行うことになりませんか？

むしろ大歓迎です。できるだけ多くの場所で収穫の講演会を開いてください。これをきっかけに、新しい集会所ができるかもしれません。幻を大きく持ちましょう。

Q うちの教会には、外国から来ている方もいます。外国人のために、その国の言葉で講演会をすることはできますか？

講師を見つめることができれば可能です。教会に来てくれる外国の方が講師になってもいいですし、海外から講師を呼ぶことも可能です。

す。牧師を通して、教区・教団にご相談ください。

Q 1つの教会で複数箇所を講演会することになると、奉仕者が少なくなり、力が分散してしまわないでしょうか？

今回は10日間の連続講演会です。今後は10日間の連続講演会です。できる限り講演自体に集中して、その他の部分はシンプルにするといいでしょう。講演後の茶話会はなくてもいいですし、特別賛美も毎日でなくてもいいでしょう。講演者と奉仕者が数名いればできるような形を考えてはいいかがでしょうか？

Q 10日間休みなしに連続で行うのですか？

基本形としては2018年5月6日(日)～10日(木)と13日(日)～17日(木)の10日間を考えています。でも、ウィルソン総理が日本におられる5月3日から20日の期間内であれば、どの10日間でもかまいません。休まずに10日間でもいいですし、週末の金曜日、土曜日、日曜日を3週連続で行って、それにあと1日をプラスするという形でもかまいません。それぞれの教会で、一番可能性のある日程の組み方を工夫してみてください。

Q 講演会は夜に行わなくてはいけないのでしょうか？

講演会を行う時間は、対象者によって自由に決めてかまいません。学生やサラリーマンが対象の場合夜に行うのがいいでしょうが、主婦や高齢者が対象の場合、昼間に行う方がいいかもしれません。

Q どうしても10日間しなければならぬのでしょうか？

今回の講演会は収穫のための講演会です。バプテスマの決心は、一生に一度の大きなことです。決心に導くためには、それなりの時間を、相手に与えることも必要です。そういう意味では、最低でも10日間は必要だと思います。ただ、10日間できないから全くやらないというよりは、5日間ならできるといふことであれば、5日間でも開催することを考えていただけると幸いです。

Q 10日間の講演会で、本当にバプテスマの決心者が出るのでしょうか？

人を救うことができるのは、神様だけです。私たちは講演会に出席される人々の、良き隣人となることができます。また、その人々の救いのために、執り成しの祈りをささげることができます。しか

願い

大勢の人たちと
いっしょに喜んで
再臨を迎えたい！

祈る

2・3・4の祈り
執り成しの祈り
7・7の祈り
など

TMI
全員参加伝道



手渡す

信頼関係を築く

紹介する



誘う

聖書に興味を
持っていただく

聖書を学びたいという人

小グループ／家庭集會
VOPバイブルスクール など

収穫

全日本18 マラナ・タ

いろいろな人を好きになる

まわりの人たちと
つながりを持つ

TMI手帳が
役立ちます！

親しくなる



アウトリーチ

地域との交流イベント
教会バザー／健康講演会
教育講演会 など

し、その人が決心をするかどうかは、聖霊の神様の声により、ご本人がどう応えるかによります。聖霊の神様の働きに、大いに期待しましょう。



講演会に誘える求道者がいないと、収穫のための講演会を開いても意味がありません。どうすればいいですか？

2018年5月まで、まだ1年以上あります。今から求道者を増やしましょう。



うちの教会は高齢化しています。求道者を見つけることも難しい状況です。求道者を増やすにはどうすればいいですか？

まずは、祈ることから始めましょう。「2・3・4の祈り」をぜひ始めてください。この祈りは、神様が求道者を送ってくださいったときに、その人を受け入れるための準備でもあります。準備ができているところに、神様は人を送ってくださいと信じています。



求道者を増やすために、祈る以外にできることはありますか？

周りの人たちにとって、良き隣人であるように努めましょう。アドベンチスト・ライフ誌2016年7月号の「つながりを持つための1000の提案」を参考にしてください。



2018年の講演会は、健康伝道の講演会なのではないのですか？

健康伝道の講演会ではありません。ただ、健康伝道は、求道者を得るための有効な手段となりますので、福音の右腕とも言われます。各教会で健康伝道を活用して、収穫の講演会に招待できるような信頼関係を、多くの人々との間に育

てておきましょう。



「全日本18 マラナ・タ」のために、どのような準備をすればいいのですか？

2017年にいくつかの教会が、実験的に10日間の講演会を行う予定です。その準備が、2017年に入るとすぐに始まります。このモデル教会が作るマスター・カレンダーを参考にすることができません。教会ごとの決起集會、リバイバル集會、継続的な「執り成しの祈り」プロジェクト、頻繁な地域との交流イベント、講演会に出席する人を受け入れる体制作りと訓練、フォロアップのための訓練、プレ講演会などの具体的な事柄が1年分のカレンダーに組み込まれてくるでしょう。



たくさん準備が必要なんですかね。始まる前に疲れてしまいませんか？

教会は、人々の救いのために存在しています。そのために、教会が奉仕するときに、神様は教会を豊かに祝福してください。神様が祝福してくださって、教会を通してたくさんの人々が救われるのを見るときに、疲れは吹き飛んでしまいます。大丈夫です。心配ありません。